

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德中学校
(明德中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-	-	-
令和6年度	-	-	-
令和5年度	+13.2	+7.0	+8.4
令和4年度	-8	-2.4	-

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 83 % 全国 69.8 % 県 70 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎目的や場面に応じて質問する内容を検討する力に課題がある。書き手や話し手の意図や場面に応じて叙述したり文章を整えたりする力の不十分さにもつながっている。【話すこと聞くこと】設問1ー（全国平均との差-17.5） ◇書き手や話し手の意図に応じて、情報を整理したり自分の考えが伝わりやすいように表現したりする力に課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎話し手が伝えたいことを確かめたり、目的に沿って足りない情報を聞き出したりするなど効果的な質問ができるようにする。また、収集した情報を整理したり、関係付けたりして、目的に沿って考えを表現する指導を行う。 ◇文章を書く際に、目的や相手を明確にし、複数の情報を比較したり、関連付けたりすることで、伝わりやすいように工夫させる。また、叙述の仕方や文章を整えるために、読み手の立場に立って仲間と文章を見直す場面を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力（設問1ー）の類似問題（第3学年，2月） 目標90%→結果90.1% 全国学力（設問1ー）（第2学年，2月） 目標90%→結果100% ◇全国学力【書くこと】（5・8学年，2月） 目標80%→結果61%</p>
<p>数学</p> <p>本校 58 % 全国 51.0 % 県 49 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎データの活用の分野において、「四分位範囲」など基本的な用語の意味の理解に課題がある。また、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。【データの活用】大問7(1)（全国平均との差-25.7）大問7(2)（全国平均との差-3.6） ◇算数・数学的な用語や定義を理解することやその既習の知識を活用し、資料から必要な情報を抜き出し、用語を用いて表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎「四分位範囲」などの基本的な用語の意味を理解させる。その後、複数の集団のデータの分布の傾向を比較する活動を行う。その際、「箱ひげ図の箱の位置」や「四分位数」などの数学的な用語を用いて的確に説明できるように指導する。 ◇算数・数学的な作業活動を繰り返したり、生活につなげて必然性を持たせる授業に取り組んだりして、基本的な用語や定義を理解させる。また、それを使って表現させるなどして定着させる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力（設問7）の類似問題（第3学年，2月） 目標50%→結果87.5% 全国学力（設問7）（第2学年，2月） 目標70%→結果60% ◇全国学力【データの活用】（5・8学年，2月） 目標70%→結果68.5%</p>
<p>英語</p> <p>本校 54 % 全国 45.6 % 県 43 %</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる力に課題がある。場面に応じて適切な会話を構築する力が不足している。【書くこと（ア）】（全国平均との差-10.4） ◇小学校においては、「話す・聞く」などの活動が主になっており、「書く」活動に時間が取れていない。そのこともあり、場面に応じた文型を、適切に運用し書き表す力が不足している。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎場面に応じて適切な会話を構築するための会話練習および英作文力向上の活動を推進する。具体的には目的や場面を設定し、それに合わせたフリートークが即興ででき、それを書き表すことができるように、段階を踏みながら推進していく。 ◇書く力の向上のため、小学校においても、身の回りの英単語や英文を書く時間を設け、中学校区として、自分のこと等について英語で表現できるようにしていく。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力（設問9（1）①）の類似問題（第3学年，2月） 目標70%→結果69% 全国学力（設問9（1）①）（第2学年，2月） 目標70%→結果50% ◇全国学力【書くこと】（5・8学年，2月） 目標70%→結果60%</p>

【来年度に向けて】 今後も学力調査等をもとに生徒の学習状況を把握し、個々の課題に応じた取組を行うとともに指導方法の改善に努め、課題の解決を図る。また、調査対象教科で明らかになった課題については、課題が関連するその他の教科等の中でも取り組み、組織的に推進する。